

# 包括サブスクリプションまたはトライアルの期限切れのトラブルシューティング

## 内容

---

[はじめに](#)

[説明](#)

[有効期限に伴う変更](#)

[ローミングクライアント:](#)

[セキュアインターネットゲートウェイ\(SIG\)Essentialsの期限切れ](#)

[Umbrellaからすべてのデータを削除するために必要な手順](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、Umbrellaのサブスクリプションまたはトライアルの有効期限が切れた後に何が起きるかについて説明します。



注：サブスクリプションの更新、試用版の購入または延長については、アカウントマネージャにお問い合わせください。担当者の連絡先情報がわからない場合は、<https://umbrella.cisco.com/contact-us>までお問い合わせください。

---

## 説明

サブスクリプション期間またはトライアル期間の終了時に、ソフトウェアを購入していない場合、組織は自動的にDNS監視アカウントにダウングレードされます。[DNSモニタリング](#)は、Cisco Umbrellaの最も基本的な機能であり、エンタープライズ向けのUmbrellaよりも機能が大幅に少なくなっています。

---

注：サブスクリプションまたはトライアルの期限が切れても、DNS解決は機能し続けます。インターネット接続は失われず、Webサイトの解決も停止しません。

---

## 有効期限に伴う変更

- レポート内の統計情報は、Umbrellaにまだトラフィックを送信しているすべてのID（ネットワーク、ローミングクライアントなど）について、以前と同様に（セキュリティの分類を含めて）記録されます。
- アプリケーション検出レポートと宛先レポートへのアクセス権が削除されます。
- ポリシーの強制が削除されました（ローミングクライアントを含む）：
  - カテゴリ設定は適用されなくなりました。
  - セキュリティ設定は適用されなくなりました。すべてのセキュリティイベントが許可されます。
  - すべてのポリシー設定が非表示および非アクティブになります。これらは、Umbrellaパッケージに登録した後に復元されます。
- ダッシュボードから管理できるのは、ネットワークとネットワークデバイスだけです。他のすべてのIDは非表示になります。

- ブロック・ページが表示されない : DNS監視アカウントはトラフィックをブロックしません。

## ローミングクライアント :

サブスクリプションまたはトライアルの期限が切れても、DNS解決とDNS暗号化は (ポリシーの適用なしで) 機能し続けます。ただし、ローカルドメインが解決し続けるようにするには、最新の内部ドメインリストが必要です。Umbrellaローミングクライアントは、有効期限の定義に従って内部ドメインリストの同期を継続します。有効期限後に内部ドメインリストを変更することはできません(変更および再登録が必要な場合は、umbrella-support@cisco.comまでお問い合わせください)。再登録の予定はないのですか。ローミングクライアントをアンインストールします)。重要な点として、既存の内部ドメインの解決は、サブスクリプションまたはトライアルの期限切れの影響を受けません。

アクティブなサブスクリプションがないと、ローミングクライアントをサポートできません。

DNS MonitoringパッケージでUmbrellaへの無料のDNS暗号化をお探しですか? [DNScryptプロジェクト](#)を参照してください。

## セキュアインターネットゲートウェイ(SIG)Essentialsの期限切れ

見込み客のお客様は、SIG Essentialsのサブスクリプションまたはトライアルの有効期限が切れると、上記のようにセキュリティ設定が削除されます。DNSトラフィックを表示できる基本ダッシュボードには引き続きアクセスできますが、ポリシーは適用されません。

Umbrella DNSセキュリティの既存のお客様がSIGパッケージを試用している場合、試用期間が終了すると、以前の試用前の設定に戻ります。

すべてのIPSecネットワークトンネルとファイアウォールルールは7日間保持されます。この7日間は、IPSecネットワークトンネルとファイアウォールルールは適用されませんが、サブスクリプションが復元されると (購入またはトライアル期間が延長されると)、設定は自動的に復元されます。この7日後、すべてのIPsecネットワークトンネルとファイアウォールルールは自動的に削除されます。

## Umbrellaからすべてのデータを削除するために必要な手順

Umbrellaに保存されている一部またはすべてのデータを削除するには、次の手順が必要です。

新しいDNSクエリデータがUmbrellaによって識別されないようにするには、DNSデータのUmbrellaへの送信を停止するか、まだ存在するIDをダッシュボードから削除する必要があります。

1. Networks : クエリをUmbrellaに転送しないようにDNS設定を変更し、Deployments > Core Identities > Networksから関連IPを削除します。
2. ネットワークデバイス - 製造元の指示に従って、デバイスのUmbrella統合を削除してください。Deployments > Core Identities > Network Devicesの順に選択し、デバイスを削除します。

3. コンピュータのローミング：マシンからUmbrella RoamingクライアントまたはAnyConnect Umbrella Roamingセキュリティモジュールをアンインストールします。DNS監視にダウングレードされている場合は、サポートに連絡して、ローミングコンピューターのIDを削除してもらってください。クライアントがマシンからアンインストールされていない場合、削除されると自動的にUmbrellaダッシュボードに再登録されることに注意してください。
4. モバイルデバイス：デバイスからiOSまたはAndroidアプリをアンインストールします。DNSモニタリングにダウングレードされている場合は、サポートに連絡して、モバイルデバイスのIDを削除してもらってください。アプリがマシンからアンインストールされていない場合、削除されると自動的にUmbrellaダッシュボードに再登録されることに注意してください。
5. 仮想アプライアンス - VAをホストしている仮想マシンをハイパーバイザから削除します。DNSモニタリングにダウングレードされている場合は、サポートに連絡して、仮想アプライアンスのIDを削除してもらってください。
6. Active Directory統合：ドメインコントローラからUmbrella ADコネクタサービスをアンインストールします。AD IDを削除するには、サポートにお問い合わせください。コネクタがマシンからアンインストールされていない場合、削除されるとAD IDが自動的にUmbrellaダッシュボードに再入力されることに注意してください。
7. 内部ネットワーク:Deployments > Configuration > Internal networksから内部ネットワークIDを削除します。

現時点では、Umbrellaダッシュボードから既存の要求データを削除することはできません。すべてのデータは、受信から1年後に自動的に期限切れになります。

Umbrella組織からユーザーアカウントを削除するには、Admin > Accountsからユーザーアカウントを削除します。この操作では、組織からユーザが削除されるだけで、通常はUmbrellaからユーザが削除されるわけではないことに注意してください。Umbrellaから完全に削除したいユーザは、Umbrellaサポートまたはprivacy@cisco.comにお問い合わせください。

認証にSAMLを使用している場合は、Admin > AuthenticationでSAMLを無効にしてください。

Amazon S3のアップロードを終了するには、Admin > Log Managementに移動し、Amazon S3セクションの「Stop Logging」をクリックします。

APIキーを削除するには、Admin > API Keysの順に選択し、該当するAPIキーを展開して、「Delete」をクリックします。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。